



3教文第1245号  
3教体第383号  
令和4年2月17日

各県立学校長 様

学芸文化課長  
体育保健課長  
(公印省略)

県立学校における令和4年2月18日以降の部活動の取扱いについて(通知)

各学校の部活動に関しては、令和4年2月10日付け3教文第1226号、3教体第375号により、3月6日(日)まで部活動は中止としていますが、本県における新型コロナウイルス感染症の動向は、新規感染者数、療養者数共に減少傾向が継続しており、まん延防止等重点措置の延長により、今後も減少傾向で推移することが予想される状況です。

また、国が部活動におけるオミクロン株への具体的な対応や感染症対策を示したことから、令和4年2月18日(金)より、令和4年3月6日(日)まで、【別紙】に基づいた取組をお願いします。

なお、県内における感染段階は、県下全域に「レベル2 - (特別警戒警報)」が発令中であり、引き続き、感染リスクを抑える取組を講じる必要があるため、基本的感染防止対策の徹底をお願いします。

記

○【令和4年2月18日(金)～3月6日(日)までの、主な取扱い】

主な内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>平日2時間程度の自校での活動のみ可</u>(土日及び休業日は中止)</li><li>・他校等との交流は禁止</li></ul>
特に留意すべき点	<ul style="list-style-type: none"><li>・近距離で組み合わせることが主体となる活動や身体接触を伴う活動、大きな発声や激しい呼気を伴う活動、室内で生徒同士が近接距離で行う合唱や管楽器演奏等の感染リスクの高い活動は行わないこと。</li><li>・練習前後の部室等の一斉利用と集団での飲食を避け、練習終了後は速やかな帰宅を促すこと。</li><li>・健康観察を実施し、生徒本人に発熱等の風邪症状がある場合や、同居の家族に風邪症状がみられる場合は、参加させないことを徹底すること。(発熱、咳やのどの痛みなど)</li><li>・熱中症予防を含め、けがや事故等がないよう、無理のない運動強度、頻度を設定すること。</li></ul>

詳細は【別紙】参照

【問い合わせ先】  
学芸文化課 教育文化班  
担当：林 【TEL】095-894-3385  
体育保健課 学校体育班  
担当：佐藤 【TEL】095-894-3393

## 部活動の取扱いについて（令和4年2月18日～令和4年3月6日）

県立学校の部活動においては、下記、感染症対策の措置を講じた上で、実施するものといたします。  
 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、依然として警戒を緩めることはできないため、  
 令和4年2月18日より、令和4年3月6日まで、以下の取組を徹底してください。

## 実施にあたって

健康観察を実施し、生徒本人に発熱等の風邪症状がある場合や、同居の家族に風邪症状がみられる場合は、参加させないことを徹底すること。（発熱、咳やのどの痛みなど）

生徒本人・保護者の意向を尊重すること。

- 他校等との交流は禁止とし、平日2時間程度の自校での活動のみ可とする。（土日及び休業日は中止）
- 近距離で組み合うことが主体となる活動や身体接触を伴う活動、大きな発声や激しい呼気を伴う活動、室内で生徒同士が近接距離で行う合唱や管楽器演奏等の感染リスクの高い活動は行わないこと。

大会への参加について

県内大会等への参加は、県の競技団体・高体連・高野連・高文連・中体連・中文連（中体連・中文連は郡市町を含む）が主催・共催する公式戦への出場のみとする。

原則、日帰りでの参加とするが、離島からの参加や、やむを得ず宿泊する必要がある場合は、感染リスクが高い、移動・飲食・入浴等の場面の感染防止対策を特に徹底し、可能な限り、普段一緒に活動している者以外との接触を避けること。

全国大会・九州大会等への参加は、中央競技団体等や全国・九州の高体連・高野連・高文連・中体連・中文連が主催・共催・後援する大会等への出場のみとする。

特に、全国・九州大会等への参加後2週間は、感染拡大防止の観点から、基本的感染防止対策や健康管理の徹底に留意した上で、可能な限り、全体練習を控え、個別の自主練等の活動のみとするなど、練習環境や方法等の工夫を講じて、実施すること。

大会参加を検討する際は、自校が所在する市町が独自の感染症対策として、移動等を制限する場合もあることなどに留意すること。

## 具体的な留意事項 【感染拡大防止対策について】

- 練習前後の部室等の一斉利用と集団飲食を避け、練習終了後は速やかな帰宅を促すこと。  
更衣室や部室等は、交替で使用するなどして、一度に大人数の生徒が利用することを避ける。  
部員同士が集まって食事を摂る場面を避ける。
- 密集を避けるため活動時間などを工夫するとともに、活動中は大きな声での会話や応援等は行わないこと。
- 大会参加などで他チームと宿舍が同じ場合は、飲食および入浴の時間や会場を分散する、他のチームと相部屋にしないなど、可能な限り、普段一緒に活動している者以外との接触を避けること。  
移動の際は、原則マスク着用を徹底し、バス等利用時は定期的な換気も行うこと。
- 部活動停止中に、生徒の体力・運動能力が落ちていることを踏まえ、競技特性、生徒の発達の段階、競技レベル等に十分配慮し、スポーツ医・科学的な見地から運動部活動ガイドラインに則った練習計画のもと、熱中症予防を含め、けがや事故等がないよう、無理のない運動強度、頻度等を設定すること。

- ・ 毎回、部活動単位で、生徒の体温を検温するなど、健康観察を行うこと。
- ・ 体育館、校舎内等の屋内施設を用いる場合、ドアを広く開け、普段以上のこまめな換気を行うこと。
- ・ 生徒が手を触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチ）や用具・器具等は、消毒液等を使用して清掃を行うなど、感染拡大防止のための防護措置等を講じること。特に楽器等については唾液の処理等も適切に行うこと。
- ・ 給水用のボトルやコップ、汗を拭くタオルなどは共用しないこと。
- ・ 活動参加について、承諾書（様式は各学校独自）により、保護者の承諾を得ること。

「県HP」はこちらです。

『「長崎県からのお願い」に記載している「感染者が拡大している地域について」』で閲覧可

QRコード：こちらからも確認できます。

